

廃棄物分野における 運行管理アプリケーション開発事業

運行管理支援アプリケーション
「Beetle Assist」

Beetle Management

事業内容

近年、脱炭素社会の実現に向けた潮流がある一方で、廃棄物処理分野は慢性的に人手不足、更に2024年の物流クライシスが迫っており、変革を要する時期にある。

本事業は、ドライバー用アプリケーションの新規開発と、事務所用クラウドシステムの『bee-net』(2011年弊社特許取得)の機能拡充により、全国登録社数6,000社を超える現場から集約される情報がリアルタイムに反映される仕組みを創り、廃棄物分野のDXを支援する。

集約された情報の活用により、排出事業者はごみ減量化や資源循環促進等の環境改善計画の策定が容易となり、廃棄物処理業者は業務プロセスの改善により人手不足問題の解消、また回収ルート効率化によってCO2削減が可能となる。

今後の展開

現在、本アプリの開発はフェーズ2へ移行し、現場写真撮影機能や勤怠管理もアプリ内に実装、自社グループ内での試験運用を重ねて機能拡充と付加価値創出を図っている。

2023年度下期より、全国の廃棄物処理業者向けにサービス提供を開始、新たな商圏の拡大を目指します。

